

令和7年2月議会

予算特別委員会資料

(第2分科会・都市ブランド創造局)

1	令和7年度 予算総括表	2
2	令和7年度 歳入予算概要について	3
3	令和7年度 歳出予算概要について	5
4	債務負担行為（当該年度提出に係る分）	7
5	令和7年度の主な取組について	8
6	議案要旨<条例議案>	16

1 令和7年度 予算総括表

(歳入)

(単位:千円)

款	令和7年度 ①	令和6年度 ②	比較 ③(①-②)	増減率 ④(③/②)
17 使用料及び手数料	918,334	920,495	△ 2,161	△ 0.2%
18 国庫支出金	577,316	363,176	214,140	59.0%
19 県支出金	5	8,005	△ 8,000	△ 99.9%
20 財産収入	99,337	93,790	5,547	5.9%
21 寄附金	33,865	25,865	8,000	30.9%
22 繰入金	131,447	109,434	22,013	20.1%
24 諸収入	306,791	304,956	1,835	0.6%
25 市債	3,397,400	2,171,500	1,225,900	56.5%
一般会計	5,464,495	3,997,221	1,467,274	36.7%
土地取得特別会計	151,532	14,050	137,482	978.5%
都市ブランド創造局 合計	5,616,027	4,011,271	1,604,756	40.0%

(歳出)

(単位:千円)

款項目	令和7年度 ①	令和6年度 ②	比較 ③(①-②)	増減率 ④(③/②)
2.3.4 文化振興費	4,915,285	3,766,720	1,148,565	30.5%
2.3.5 スポーツ振興費	3,242,808	3,223,944	18,864	0.6%
2.3.6 美術館費	482,939	405,702	77,237	19.0%
2.3.7 博物館費	788,737	382,486	406,251	106.2%
2.4.1 市民総務費	0	40,984	△ 40,984	△ 100.0%
2.9.1 繰出金	1,228	2,736	△ 1,508	△ 55.1%
4.2.4 青少年費	525,864	516,125	9,739	1.9%
8.2.1 商工業振興費	558,263	409,586	148,677	36.3%
8.3.1 観光費	1,680,985	1,821,533	△ 140,548	△ 7.7%
8.4.1 繰出金	314	314	0	0.0%
一般会計	12,196,423	10,570,130	1,626,293	15.4%
土地取得特別会計	151,532	13,918	137,614	988.7%
都市ブランド創造局 合計	12,347,955	10,584,048	1,763,907	16.7%

2 令和7年度 歳入予算概要について

一般会計

(単位:千円)

頁	款 項 目	令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	比較 (A)-(B)	主な収入
24 25	17.1.1 総務使用料	808,333	797,391	10,942	・文化施設使用料 288,753 ・スポーツ施設使用料 313,002 ・博物館使用料 182,330
26	17.1.3 子ども家庭使用料	97,927	111,183	△ 13,256	・科学館使用料 97,869
27	17.1.7 産業経済使用料	12,074	11,921	153	・市有地目的外使用料 11,772
38 40	18.2.1 総務費国庫補助金	487,883	276,024	211,859	・新しい地方経済・生活環境創生交付金 179,550 ・都市構造再編集集中支援事業費 212,299
52	18.2.7 産業経済費 国庫補助金	89,433	87,152	2,281	・新しい地方経済・生活環境創生交付金 57,300 ・都市構造再編集集中支援事業費 19,100
79	19.2.○ 産業経済費 県補助金	0	8,000	△ 8,000	
79 80	19.3.1 総務費委託金	5	5	0	
81 83	20.1.1 財産貸付収入	54,764	48,217	6,547	・旧九州厚生年金会館駐車場貸付収入 17,000 ・その他普通財産貸付収入 23,978 (うち西日本総合展示場本館駐車場貸付収入 23,976)
84 85	20.1.3 基金運用収入	2,548	2,548	0	・文化振興基金利子等 2,537
85	20.1.5 特許権等運用収入	1,000	1,000	0	・文学館管理著作権使用料 1,000
85 86	20.1.6 施設命名権収入	41,025	42,025	△ 1,000	・ミクニワールドスタジアム北九州 ネーミングライツ収入 22,000
87	21.1.1 総務費寄附金	33,865	25,865	8,000	・文化行事等寄附金 20,000 ・スポーツによるにぎわいづくり基金 寄附金 13,000
90	22.1.5 市民太陽光発電所 特別会計繰入金	3,000	10,000	△ 7,000	
90	22.2.3 美術品取得基金 繰入金	4,400	3,884	516	
91	22.2.10 文化振興基金 繰入金	57,750	89,550	△ 31,800	
92	22.2.15 SDGs未来基金 繰入金	17,000	0	17,000	
93	22.2.20 ボートレースによる 未来のまちづくり 投資基金繰入金	49,297	0	49,297	
93	22.2.○ スポーツによる にぎわいづくり 基金繰入金	0	6,000	△ 6,000	

96	24.3.1	総務費貸付金 元利収入	25,010	25,010	0	・文化事業貸付金収入 25,000
98 99	24.3.5	産業経済費貸付金 元利収入	5,189	5,206	△ 17	・皿倉登山鉄道(株)貸付金元利収入 5,189
100	24.4.1	総務費 受託事業収入	56,731	56,731	0	・埋蔵文化財発掘調査等受託事業 56,731
102 109	24.6.4	雑入	219,861	218,009	1,852	・文化事業収入 35,860 ・スポーツ振興くじ助成金 10,600 ・図録販売等収入 146,949
110 112	25.1.1	総務債	2,980,300	1,908,900	1,071,400	・門司港地域複合公共施設整備事業(市民会館) 344,300 ・埋蔵文化財センター移転事業 1,003,200
113	25.1.3	子ども家庭債	3,200	0	3,200	・科学館分館長寿命化推進事業 3,200
114	25.1.6	産業経済債	413,900	262,600	151,300	・北九州国際展示場施設整備事業 173,700 ・門司港レトロ建築物老朽化対策事業 87,000
合 計			5,464,495	3,997,221	1,467,274	

※頁は、一般会計予算に関する説明書の該当ページ

土地取得特別会計

(単位:千円)

頁	款 項 目	令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	比較 (A)-(B)	主な収入
85	1.2.1 不動産売払収入	149,990	0	149,990	・門司港地域複合公共施設整備事業(市民会館) 149,990
85	2.1.1 一般会計繰入金	1,542	3,050	△ 1,508	
86	3.1.1 土地先行取得債	0	11,000	△ 11,000	
合 計		151,532	14,050	137,482	

※頁は、特別会計予算に関する説明書の該当ページ

3 令和7年度 歳出予算概要について

一般会計

(単位:千円)

頁	款 項 目	令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	比較 (A)-(B)	主な支出
127 129	2.3.4 文化振興費	4,915,285	3,766,720	1,148,565	・芸術文化施設維持管理経費 1,694,803 ・門司港地域複合公共施設整備事業(市民会館)経費 604,700 ・文化財保護経費 1,174,864
129 130	2.3.5 スポーツ振興費	3,242,808	3,223,944	18,864	・大規模国際大会・全国大会等 スポーツ誘致・開催経費 319,127 ・スポーツ施設整備費 713,199 ・スポーツ施設維持管理経費 1,850,224
130 131	2.3.6 美術館費	482,939	405,702	77,237	・美術展開催経費 108,818 ・施設整備費 142,500 (うち美術館アネックス棟大規模改修工事経費 138,100)
131	2.3.7 博物館費	788,737	382,486	406,251	・企画展・特別展開催経費 71,275 ・その他経費 706,549 (うち博物館維持管理経費 263,535) (うち博物館空調用熱源改修工事経費 346,300)
133 134	2.4.1 市民総務費	0	40,984	△ 40,984	
144	2.9.1 繰出金	1,228	2,736	△ 1,508	・土地取得特別会計繰出金 1,228
176 177	4.2.4 青少年費	525,864	516,125	9,739	・北九州市科学館スペースLABO運営経費 513,499
195 197	8.2.1 商工業振興費	558,263	409,586	148,677	・北九州国際展示場管理運営等経費 492,463
199 200	8.3.1 観光費	1,680,985	1,821,533	△ 140,548	・門司港レトロリニューアル事業経費 207,000 ・国際観光振興経費 167,700 ・北九州国際会議場管理運営等経費 218,282
201	8.4.1 繰出金	314	314	0	・土地取得特別会計繰出金 314
合 計		12,196,423	10,570,130	1,626,293	

※頁は、一般会計予算に関する説明書の該当ページ

土地取得特別会計

(単位:千円)

頁	款 項 目	令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	比較 (A)-(B)	主な支出
87	1.1.○ 公共施設整備費	0	11,018	△ 11,018	
87	1.2.1 繰出金	151,532	2,900	148,632	・公債償還特別会計繰出金 151,532
	合 計	151,532	13,918	137,614	

※頁は、特別会計予算に関する説明書の該当ページ

4 債務負担行為(当該年度提出に係る分)

(単位:千円)

頁	事 項	限度額	期 間
272	若松市民会館改修事業	350,600	令和 8年度
	J:COM北九州芸術劇場改修事業	90,900	令和 8年度
	門司港地域複合公共施設整備事業 (市民会館)	2,900,600	自 令和 8年度 至 令和 9年度
	電話設備整備事業(文学館)	490	自 令和 8年度 至 令和14年度
	若松体育館改修事業	108,300	令和 8年度
	美術館アネックス棟大規模改修事業	1,179,300	令和 8年度
	自然史・歴史博物館空調用熱源改修事業	524,400	自 令和 8年度 至 令和 9年度
	自然史・歴史博物館ネットワーク機器更新 事業	42,900	自 令和 8年度 至 令和12年度
273	公用車リース経費(自然史・歴史博物館)	3,310	自 令和 8年度 至 令和14年度
277	北九州国際展示場施設整備事業 (空調設備改修)	16,800	令和 8年度
	北九州国際展示場施設整備事業 (自動検針システムセンター装置更新)	11,500	令和 8年度
278	北九州国際会議場施設整備事業	16,100	令和 8年度
	公用車リース経費(MICE推進事業)	3,010	自 令和 8年度 至 令和13年度

※頁は、一般会計予算に関する説明書の該当ページ

5 令和7年度の主な取組について

「彩りあるまち」の実現 ～輝く個性と楽しさがあふれるまち～

1 彩りある「時」をつくる

(1)文化芸術やスポーツの振興

○ ⑨(仮称)キタキューまちなかアート事業 20,500千円

うち⑨(仮称)キタキューまちなかアート事業	20,000千円
うち⑨美術館アートアクセス事業	500千円

演奏会や子ども向けワークショップなど、まちなかで音楽、アートに気軽に親しむことができるイベントや、市民みんなで公共空間をペインティングし、アートスポットを生み出す取組などを実施する。

○ 優れた文化・芸術との“出会い”創造事業 6,454千円

感受性の豊かな幼少時から優れた音楽や美術、伝統芸能等に多くの子どもたちが触れる機会を作るため、学校における箏などの伝統芸能の体験授業や、放課後児童クラブ等での音楽コンサートなどのアウトリーチ事業を実施する。

○ 北九州国際音楽祭 38,000千円

地域の音楽文化の向上を図るため、国内外の一流のアーティストによる公演や小中学生の鑑賞教室など、多彩なプログラムの国際音楽祭を開催する。

○ 芸術文化活性化事業 83,000千円

北九州芸術劇場や響ホールが持つ特性を活かし、多彩で良質な音楽や舞台芸術等を提供する。

○ 芸術文化育成負担金・補助金 34,000千円

北九州市の文化水準の向上及び地域文化の振興に資することを目的として、積極的に文化活動を展開している文化団体等の事業に対して、助成を行う。

○ 美術館企画展開催事業 103,039千円

美術館において、多彩で魅力ある展覧会を開催し、北九州市の美術・文化の振興を積極的に推進する。

○ いのちのたび博物館ナイトミュージアム推進事業 3,000千円

「ポップカルチャー(コスプレ)と博物館」など、異文化とコラボしたナイトミュージアムを開催する。

○ 博物館企画展・特別展充実事業 71,275千円

入館者の増加につながる、魅力ある大型特別展を開催し、東田地区のさらなる賑わいを創出する。また、令和7年度が昭和100年に当たることから、昭和の時代をおもちゃで振り返る企画展を開催する。

○ 「(仮称)北九州の先端技術でカガクする」イベント開催事業 800千円

企業・大学などと連携し、科学館やアウトレット内のイベントスペースで、親子連れや中高生などの若者を対象としたロボットや宇宙関連などの最先端技術を体験できるイベントを開催する。

○ 松本清張記念館普及・研究センター事業 9,318千円

松本清張の「人と作品」を広く紹介するため、企画展の開催、読書感想文コンクールなどの市民文芸活動支援事業を行う。また、松本清張に関する研究センター機能を果たすため、調査研究及び資料収集、研究奨励事業、研究誌の発行を行う。

○ 文学館普及研究事業 17,000千円

北九州ゆかりの文学者や著名作家の業績を企画展等で紹介し、本市の文芸文化の振興を図る。

○ 文学館文学賞事業 19,777千円

子どもたちの豊かな感性やありのままの気持ちを、文章を通して表現できる文学賞やこれから文壇デビューを目指す新たな文学の才能を発掘することを目的とした文学賞を実施する。

○ 北九州市漫画ミュージアム普及事業 48,500千円

漫画ミュージアムの常設展示の充実及び企画展・イベント等の実施により漫画文化の普及を図る。

○ 北九キッズスポーツマンズプロジェクト事業 3,000千円

子どもたちに多くのスポーツを体験してもらうための集中月間(北九キッズスポーツマンズ)を設定し、子ども向けスポーツ教室の情報発信や、体験型スポーツイベントを開催する。

○ ギラヴァンツ北九州支援事業 35,000千円

本市のシンボルチーム「ギラヴァンツ北九州」を支援するため、ホームゲーム開催経費や遠征費の一部を補助する。

○ ホームタウン推進事業 55,000千円

市民の「みる」スポーツの機会の創出やスポーツによるにぎわいづくりを図るとともに、体験教室等の開催を通じて、市が支援するトップスポーツチームが地域に愛されるチームとなるよう、ホームタウン活動を推進する。

○ ⑧「ワールドスケートボードツアーストリート2025北九州」開催事業

200,000千円

スケートボードの国際大会である「ワールドスケートボードツアー」の2025シーズンについて、イタリア(6月)、アメリカ(9月)に続き、日本開催が決定している11月の大会を北九州市に誘致する。

○ ⑧いつでも誰でもスポーツAction事業 39,100千円

大規模国際スポーツ大会の積極的な誘致とあわせて、サステナブルな大会運営に向けた受け入れ体制を整備するとともに、6年ぶりに来北するラグビーウェールズ代表との交流事業や、市民みんなが参加できるインクルーシブなスポーツイベントを実施する。

○ 北九州マラソン開催事業 74,407千円

本市の魅力を全国に発信するとともに、スポーツによるまちのにぎわいづくりやスポーツの振興などを目的に「北九州マラソン」を開催する。

○ 北九州国際映画祭関連事業 23,000千円

北九州国際映画祭の開催を通じて、北九州市から世界に羽ばたいていった映画や映画人が北九州市に再び集い、市民との交流や映画をテーマにしたイベントを実施するとともに、映画人材の育成を促進する。

(2)エンターテインメントによるにぎわいづくり

○ エンターテインメントによるにぎわいづくり推進事業 18,000千円

国内のみならずアジアを中心として、グローバルに「日本一若者を応援するまち・北九州市」の魅力を発信するため、エンターテインメントの力を活用したプロモーションを展開する。

○ 映像製作誘致強化関連事業 13,300千円

北九州市の都市イメージ向上と交流人口の拡大等による地域経済の活性化等を図るため、国内外の映画・テレビドラマなどの撮影の誘致、支援等に積極的に取り組む。

○ ⑧クールジャパンコンテンツ推進事業 8,500千円

北九州市の強みである漫画やアニメなどのクールジャパンコンテンツの振興により、まちに彩りをもたらすとともに、クールジャパン戦略の再起動を図り、稼げるまちの実現を目指す。さらに、国内外で急成長・急拡大しているeスポーツについて、モデル事業を実施する。

○ MICE誘致推進強化事業 81,000千円

MICE開催を通じて海外から企業・大学などの主要な研究者等、次世代の人材を多く集め、北九州市の知名度向上を図るとともに、集まった人を市内へ送り出す地域経済の活性化に資する取組みを強化する。

○ 「ポップカルチャーのまち北九州」推進事業 30,800千円

本市の都心集客の拠点となるJR小倉駅新幹線口を中心に、漫画・アニメ・ゲーム等のポップカルチャーによる大型イベント等の開催を通じて、誘客やクリエイター産業の交流・育成を図るとともに、滞在日数の増加・インバウンド誘客を図り、「まち」への経済効果を高める。

○ MICE・エンタメを活用した集客促進事業 17,000千円

市外からの来訪者が大半を占めるコンサート等のエンターテインメントや海外からの来訪者が多い国際会議等を誘致することにより、交流人口の創出・拡大による経済の活性化を図る。将来的には民間事業者による自走を目指し、コンサート開催地としての都市のイメージアップを目指す。

○ ⑧西日本総合展示場女性用トイレ増設事業(基本・実施設計) 9,000千円

西日本総合展示場の女性用トイレ不足解消のため、増設工事に向けた調査及び設計を実施する。

(3)観光資源の磨き上げや発信の推進

○ ⑧「すしの都 北九州」ブランド発信事業 14,000千円

「すしの都 北九州」のイメージ定着に向けた気運の醸成、宿泊とすし等を組み合わせた旅行商品造成、小倉城など市を代表する観光施設でのすし握り体験会などを実施する。

○ ⑧北九州ならではの夜間・早朝コンテンツ造成支援事業 8,900千円

北九州ならではの魅力的な地域資源(自然、文化、食、スポーツ等)を活用して、日没後から早朝にかけて新たな観光コンテンツづくりを促進する。

○ ⑧インバウンド高付加価値旅行推進事業 35,000千円

海外の富裕層など新たな外国人観光客を取り込むため、北九州市が持つ歴史や文化に触れる非日常的な体験型コンテンツを造成するとともに、ガイドや地域観光事業者の育成等、高付加価値旅行を催行できる受入体制を整備する。

○ **⑧ KitaQおもてなしキャンペーン事業** **8,500千円**

大規模イベント来訪者の市内周遊や観光誘客を促進するため、北九州市内の飲食店や小売店、観光施設などで割引や特典を受けられるキャンペーンを実施する。

○ **⑨ 若松北海岸サイクルツーリズム導入実証事業** **5,300千円**

体験型観光を促進させるため、民間事業者への観光コンテンツ開発支援など、若松北海岸エリアでのサイクルツーリズム実現に向けた実証事業を実施する。

○ **⑩ 皿倉山観光施設リニューアルに関する調査検討事業** **3,900千円**

老朽化が進む皿倉山の観光施設において、今後の維持・更新費の削減や、高齢者や障害者等への十分な対応ができる施設、及び皿倉エリアの魅力の飛躍的な向上を目的に、今後の望ましい運営方法を検討する。

○ **日本新三大夜景都市ブランドを活用した夜型観光促進事業** **15,000千円**

「日本新三大夜景都市」全国1位(令和6年、2回連続)の認定を受け、本市の夜型観光をさらに促進させるため、プロモーションを強化するとともに、代表的な夜景鑑賞地である皿倉山頂に光の装飾を施したフォトスポット整備などを実施する。

○ **インバウンド広域観光ルート促進事業** **33,500千円**

関西・中国・四国地方の自治体と連携して関西～九州の広域周遊ルート「西のゴールデンルート」を構築するとともに、本市の地理的優位性を活かし、福岡空港・関西空港等から入国する外国人観光客の誘客を強化する。

○ **インバウンド誘致促進事業** **72,200千円**

北九州空港・福岡空港に直行便のあるエリアを主なターゲットとして、観光プロモーション(情報発信)や受入環境の整備等を行い、外国人観光客の誘客促進を図る。

○ 稼ぐ観光に向けた観光データ活用基盤整備事業 17,100千円

毎年実施・公表している観光動態調査に加え、デジタル技術を活用した観光客の移動などのデータ分析を行い、エビデンスに基づく観光振興策の評価・効果的な施策立案に活かすとともに、今後の観光関連データの収集・分析手法の確立を目指す。

○ SDGs修学旅行サポートセンター運営事業 10,000千円

修学旅行を検討する旅行会社や学校のニーズに一元対応するワンストップ窓口「修学旅行サポートセンター」の運営を通じて、北九州市ならではの高付加価値な修学旅行プログラムの提供や細やかなフォローを実施し、修学旅行の誘致を図る。

○ 新 門司港レトロ！30thアニバーサリー事業 25,000千円

門司港レトロを舞台とした小説とのタイアップ企画や、新たなフォトスポットの造成等を行うとともに、関門海峡の景観を生かした星空シネマや朝市など、30周年記念イベントを開催する。

○ めぐる！門司港レトロ浪漫創造事業 32,500千円

和布刈地区活性化に向けた調査検討のほか、下関市と連携し、全国的にも知名度の高い関門の歴史を活かした観光コンテンツの開発など、門司港レトロ・関門のポテンシャルを活かした観光誘客の取組を実施する。

「安らぐまち」の実現 ～誰もがつながるアットホームなまち～

1 生活基盤の「安心」を支える

(1) 社会環境やニーズに即した都市基盤・施設の維持

- ⑧旧九州厚生年金会館改修検討事業 25,000千円

開館以来約40年が経過し、施設全体が著しく老朽化した旧九州厚生年金会館について、改修に向けた検討を行うための老朽化調査を実施する。

- ⑨門司港地域複合公共施設整備事業(市民会館) 604,700千円
(債務負担 2,900,600千円)

門司港地域に点在する老朽化した公共施設を集約し、複合化・多機能化することにより、市民サービスの向上や効率化、地域の活性化を促進する。

- 美術館アネックス棟大規模改修工事 138,100千円
(債務負担 1,179,300千円)

築39年が経過し、老朽化した美術館アネックス棟について、大規模改修工事を実施する。

2 暮らしの「安心」を支える

(1) 誰もが安心して暮らせる環境づくり

- 体育館(予定避難所)空調設備整備事業 282,600千円

体育館の暑さ対策や、避難所としての環境改善のため、新門司体育館、曽根体育館及び八幡東体育館に空調設備を設置する。

(2) 生涯現役に向けた健康づくりや社会参加の促進

- 若松体育館改修事業 73,900千円
(債務負担 108,300千円)

PCB廃棄物処理事業の継続を受け、若松区を中心とした地域振興策として、若松体育館アリーナ照明のLED化工事等を実施する。

6 議案要旨<条例議案>

【議案第46号】

「北九州市スポーツ施設条例の一部改正について」

<令和7年2月北九州市議会定例会議案：246～248ページ参照>

1 議案提出理由

大谷球場は、昭和3年に官営八幡製鉄所の福利厚生施設として開設され、その後、平成15年に新日鉄八幡野球部が廃部となったことを契機に、市と所有者である日本製鉄株式会社(当時:新日本製鐵株式会社)とで貸借契約を締結し、平成16年7月1日より市営球場として供用している。

これまで、本市において、必要な維持補修を行いながら管理運営してきたが、築年が古く、施設の老朽化が進行している中で、今後、継続して安全な利用環境を維持することが困難な状況となっている。

この状況を踏まえ、日本製鉄株式会社と協議の結果、現貸借契約の満了(令和7年3月31日)をもって、大谷球場を日本製鉄株式会社に返還することとし、市営球場としての供用を廃止するもの。

以上のことから、北九州市スポーツ施設条例の一部改正を行うもの。

2 改正内容

施設の供用廃止に伴い、別表の施設の削除を行う。

(1)廃止する施設の削除(別表第1)

施設の種類	名称	位置
球場	北九州市立大谷球場	北九州市八幡東区大谷一丁目2番15号

(2)廃止する施設の削除(別表第2 使用料)

施設の 種類	使用料				
	野球場 使用料	専用	区分		一般
球場				大谷 球場	1回(1時 間以内)

3 施行期日

令和7年4月1日